

特別活動の時間、あるいは週時程表の創意工夫により設けた時間に、集会活動やクリーン作戦、10分間読書、学校祭、職業体験など、さまざまな特色ある教育活動を展開してきました。

新しい学習指導要領では、教科の枠を超えた『総合的な学習の時間』や選択の幅を拡大した選択教科の時間などを十分に生かして、学校の創意に満ちた特色ある教育活動を積極的に展開することが求められます。

したがって、各学校では地域にある教育資源を教材化したり、地域の人びととの交流を図り、選択教科による多様な学習活動やボランティア活動、体験を通じた心の教育の充実などを重視した、特色ある教育活動を展開します。

これらの教育活動を推進していくために、学校では積極的に地域社会に働きかけ、地域における子どもたちの学習の場や機会を拡大するとともに、地域の各種企業・関係機関などの協力・支援を求めながら、地域に『開かれた学校運営』を進めていきます。

また、学校は各学校に配置されている学校評議員（2）や保護者を通して、地域住民の意見を学校へ反映させ、学校・家庭・地域社会が一体となって特色ある学校づくりを推進します。

2...校長が学校運営に関し、保護者

や地域住民の意見を聞くことを目的として、平成12年4月に制度化された。

学校週5日制に伴う休日の過ごし方について

完全学校週5日制は、学校、家庭、地域社会が一体となって子どもたちの生活全般を問い直しながら、子どもが『生きる力』をはぐくみ、健全な成長を促すことをねらいとしています。

登別市では、平成3年度に学校週5日制と地域の役割を考える『市民の集い』を設立し、学校やPTA、育成団体の代表者、市民各層のみなさんによる意見交換や有識者を招いたの研修会を開催するなど、学校週5日制に対する市民の理解が深まるよう努める一方、教育委員会に『学校週5日制連絡会』を設置し、行政内部の連携を密にしながら適切に対応できるよう協議を進めてきました。

また、平成4年度に市内の7つの中学校を拠点とした『中学校区学校週5日制運営委員会』（完全学校週5日制の本格実施を見据え、平成13年度、『子ども地域交流プラザ』に名称を変更）を設置。これまで授業のない土曜日に、学校・家庭・地域社会が一体となり、自然や社会、生活などをテーマとした体験活動や、レクリエーションなどが活発に行われています。

今年4月から毎週土曜日が休日となった子どもたちは、家庭でゆっくりくつろいだり、地域の行事やスポーツ少年団や部活動などに参加してしっかりと『生きる力』をはぐくんでいることと思います。

今後、市は、子どもたちの休日の過ごし方について『生活実態調査』を実施するなどして、子どもたちのさまざまな活動の場や機会の拡大、情報提供などを計画的・継続的に推進していきます。



『そば打ち体験』（札幌・来馬地区子ども地域交流プラザ運営委員会）

『子ども地域交流プラザ』事業実績（平成13年度）

幌別中学校区運営委員会
ふれあい農園（田植え）収穫祭
まで）
どろんこまつり

音楽を楽しむ会

幌別中学校区運営委員会

七夕短冊展

くじら岬の清掃と散策

昔の遊びの体験活動

餅つきお楽しみ会・消防署の見学会

登別中学校区運営委員会

ふるさと自然体験（ ）

『登別川の清掃』

ふるさと自然体験（ ）

『さけの採卵体験とふ化場見学』

ふるさと自然体験（ ）

『雪遊び体験』

登別温泉中学校区運営委員会

室内サッカー大会、親子ミニバレー・バトミントン・ドッジボールなどの大会

三世代交流ゲートボール大会

親子餅つき大会

西陵中学校区運営委員会

親子ふれあい祭り

親子ふれあいスポーツ大会

親子ふれあい百人一首大会

緑陽中学校区運営委員会

親子パソコン教室、親子茶道教室

親子百人一首大会、親子『餅つき大会』

富岸川の清掃活動

札幌・来馬地区運営委員会

夏のふれあい広場（日本工学院北海道専門学校見学）

秋のふれあい広場（乗馬の体験活動）

新春そば打ち大会